

各中項目のレベルについて

点数	レベル	基準
100	S	世界的に見て最先端のレベル（誰もがここを目指すというよりは参考として示す）
80	A+	国際的に高く評価されるレベルの目標を掲げ、その達成に向けて十分な活動が来ている（大企業や、特にその項目に力を入れている会社が目指すレベル）
60	A	方針や目標を明示し、それに従って行動し成果を出している（まずはここを目指してもらう）
40	B	部分的にだが行動している
20	C	準備を進めている（方針作りに着手しているor 方針は定めてあるが行動が具体化していない）
0	D	未着手である
-	N.A.	該当しない（その理由を述べること） すべてのレベルは、それより下のレベルの要件が満たされていることが前提となる

基準（大項目・中項目）

1 自然環境を守っている

1.1 気候変動を緩和するとともに、適応も図っている（社内）

S	2030年までにScope3も含めてGHG排出量を50%以上の削減となるよう取り組みを進めている
A+	Aに加えて、シナリオ分析に基づき適応策も着実に進めている
A	2050年カーボンニュートラルを目指すことを公表し、Scope1, 2でGHG排出量を計画的に削減している
B	GHG排出量削減のための省エネの努力やエネルギーシフトを行っている
C	GHG排出量を把握している
D	未着手である
用語	Scope 1, 2, 3、緩和、適応、GHG、シナリオ分析、エネルギーシフト

1.2 バリューチェーンでGHGの排出を減らしている（製品・サービス）

S	バリューチェーン全体でGHGの発生を実質ゼロにすることに活動をしている
A+	サプライチェーン全体でGHGの発生を実質ゼロにすることに活動をしている
A	すべての製品・サービスについてバリューチェーン全体でGHGの排出を少なくする方針があり、実現に向けて努力している
B	使用時にGHGの排出が少ない製品・サービスを提供している
C	使用時にGHGの排出が少ない製品・サービスの開発をしている
D	未着手である
用語	バリューチェーン、サプライチェーン、実質ゼロ

1.3 水を持続可能な形で利用している

S	使用する以上の水を地中に戻している
A+	使用している水源の涵養を行なっている
A	節水目標値（使用量）を定め、節水と循環利用をしている
B	節水を行うと同時に、排水の適切な処理を行なっている
C	節水を継続的に進めている
D	未着手である
用語	循環利用、水源の涵養

1.4 新たに投入する資源を最小にし、資源を保全している

S	他社と協働して、資源循環型の事業システムを作り出し、サーキュラーエコノミーを実践している
A+	全社的にバリューチェーンも含め資源循環型の事業活動、製品サービスの提供に取り組んでいる
A	全社的に再生資源や循環可能な資源を使用する方針があり、新規資源の投入を削減している
B	アップサイクルなどを含め、未利用資源や廃棄された資源からの価値創出を実践している（全社的でなくとも、少数の取り組みも可）
C	全社で資源投入量とその削減量を定量的に把握している
D	未着手である
用語	サーキュラーエコノミー、アップサイクル、未利用資源

1.5 廃棄物の発生を抑制している

S	廃棄物を有効活用（再資源化）し、サーキュラーエコノミーを実践している
A+	廃棄物ゼロエミッション（廃棄物の最終処分ゼロ）を達成している
A	廃棄物削減の意欲的な目標を設定し実行している
B	3Rを実践し、廃棄物の発生を減少させている
C	廃棄物の削減量を定量的に把握している
D	未着手である
用語	3R

1.6 化学物質を適正に管理し、有害物質は排出していない

S	使用するすべての化学物質の使用量、排出量を開示し、自然界への排出を計画的に削減している
A+	製品に含まれる化学物質は国際的にもっとも厳しいルールを守っている
A	関係法令に留まらず、使用するあらゆる化学物質の取り扱い記録を保持している
B	法規制値と上回る化学物質の削減に努めている
C	法規制対象以外の化学物質についても把握している
D	法規制レベル以上の化学物質管理はしていない

用語
注記 農業の場合にはサプライチェーンでの管理も必要になる？

1.7 生物多様性を保全している

S	生態系と生物多様性に対する影響をネット・ポジティブにすることを目指して活動している
A+	事業活動や提供する製品・サービスの生態系・絶滅危惧種への影響を定量的に評価し、その影響を減らす取り組みをしている
A	サプライチェーンを含めて生態系や生物多様性に与える負の影響を最小化することを宣言し、使用する原材料を含めて実践している
B	脆弱・貴重な生態系の地域での事業活動を行わない、原材料に絶滅危惧種は使用しない
C	事業活動の生態系や生物多様性への影響を認識している
D	未着手である
用語	絶滅危惧種
注記	原材料の認証制度の例

2 人権を尊重し、その実現を推進している

2.1 人権を尊重している

S	人権を遵守するための仕組みを業界やステークホルダー等とともに構築している
A+	国際的に認められた人権を超える基準を自ら定め、特別な配慮を必要とする人々の人権を保障している
A	人権を遵守する方針を表明し、遵守している
B	人権を遵守する必要について意識の啓発を行っている
C	人権が何かを把握している
D	未着手である
用語	国際人権章典 – 世界人権宣言、国際人権規約A、国際人権規約B、国際人権規約Bへの第一・第二選択議定書 特別な配慮を必要とする人々 – 先住民族、女性、民族的・種族的・宗教的・言語的少数者、子ども、障がい者、移住労働者とその家族など、弱い立場にある人々

2.2 人権デューデリジェンスを実践している

S	業界や様々なステークホルダーと協働して人権デューデリジェンス向上の仕組みを構築している
A+	市民社会組織等と協働し、バリューチェーン全体で人権デューデリジェンスを実践している
A	人権デューデリジェンスを実践する方針を表明し、サプライチェーンを含めて実践している
B	人権への負の影響を把握し、人権デューデリジェンスに関する意識の啓発を行っている
C	自らの活動にともなう人権への負の影響の把握を始めている
D	未着手である
用語	人権デューデリジェンス – 自らの活動が生起ないし助長しうる人権への負の影響もしくは取引関係を通じて自らの活動・製品・サービスが直接関係する人権への負の影響を特定して、防止・軽減し、適切に対処し、公表すること 取引関係 – 取引先企業、バリューチェーン上の組織、及び企業の事業、製品またはサービスと直接関係のある非国家または国家組織を含む

2.3 労働者の権利を保障するとともに、ディーセントワークの実現を推進している

S	サプライヤーや様々なステークホルダーと協働してサプライチェーン全体でディーセントワークの実現を推進している
A+	日本が未批准のすべてのILO条約も遵守するとともに、生活賃金の保障等を通してディーセントワークの実現を推進している
A	ILO中核8条約および労働法を遵守するとともに、法の定めを超えて福利厚生を提供している
B	ILO中核8条約および労働法を遵守している
C	ILO中核8条約および労働基準法・労働組合法をはじめとする労働法の違反の是正に取り組んでいる
D	未着手である
用語	ディーセントワーク、ILO中核8条約 – 結社の自由・団体交渉権の承認、強制労働の禁止、児童労働の禁止、差別の撤廃について定めた8条約 生活賃金 – 生活していくのに十分な賃金

2.4 あらゆるハラスメントを防止し、適切に対応している

S	法がまだ対象としていないものも含むあらゆるハラスメントを防止し、適切に対応している
A+	関係法令が対象としていない人々へのハラスメントを防止し、適切に対応している
A	関係法令に則ってハラスメントを防止する方針と体制を整備し、適切に対応している
B	ハラスメントを防止する方針と体制を整備し始めている
C	ハラスメント防止のための啓発を行っている
D	未着手である
用語	法律の対象外の人（取引先、研修生・就活生、個人事業主等および外部から社員に対する） 方針、体制、適切な対応の説明が必要

2.5 人材の多様性（ダイバーシティ）を推進し、少数者や弱い立場の人々を積極的に雇用・登用している

S	業界や様々なステークホルダーと協働して人材の多様性を推進している
A+	少数者や弱い立場の人々を優先的に雇用・登用するなどの、積極的是正措置を講じている
A	ダイバーシティを推進する方針を定め、少数者や弱い立場の人々が活躍できる体制を整備して雇用している
B	ダイバーシティ推進の啓発を行い、少数者や弱い立場の人々が働ける環境を整えている
C	ダイバーシティを推進するための啓発を行っている
D	未着手である
用語	人材におけるダイバーシティ、積極的是正措置

3 消費者を尊重している

3.1 消費者に対して責任ある対応をしている

S	消費者保護ルールに関するガイドラインを推進するリーディングカンパニーである
A+	窓口寄せられた意見・情報が経営層にも共有され、全社的に問題解決を図る仕組みになっている
A	消費者の意見・要望を受け付ける窓口を設置かつ公開し、誠実に対応している
B	消費者に対する責任ある対応について社内責任者を設置している
C	消費者に対する責任ある対応について社内教育を行なっている
D	未着手である
用語	

3.2 消費者の権利を守っている

S	もっとも厳しい法律や規準に従ってグローバルに同一基準で消費者の権利を守っている
A+	万一消費者の権利が守られなかった場合には、被害救済を確実にしている
A	消費者の権利を守る方針を持ち、その取り組み実績を毎年公開している
B	消費者の権利を守る方針を持っている
C	消費者の権利に関わる法律を守っている
D	未着手である
用語	消費者の権利

3.3 消費者の安全を重視している

S	もっとも厳しい法律や規準に従ってグローバルに同一基準で消費者の安全を確保している
A+	万一消費者の安全が損なわれた場合には、被害救済を確実にしている
A	消費者の安全を重視する方針を持ち、その取り組み実績を毎年公開している
B	消費者の安全を重視する方針を持っている
C	消費者の安全に関わる法律を守っている
D	未着手である
用語	

3.4 個人情報を保護している

S	クッキー利用、トラッキング及びターゲティング広告について、消費者の情報コントロール権を尊重する取組を実施している
A+	事故が発生しないように十分に配慮をすると同時に、万一事故が起きた場合には被害救済を確実にしている
A	個人情報の保護に関する法律とガイドライン（プライバシーマークの取得等）に従った方針を持ち、実践している
B	個人情報保護に関する方針を持ち、実践している
C	個人情報保護の重要性を社内でも共有している
D	未着手である
用語	

4 動物の福祉・権利を守っている

4.1 適正な生産過程を経た畜産物・水産物を利用している

S	集約的畜産、集約的水産や苦痛を伴う慣行を使わない方針を持ち、実行している
A+	集約的畜産、集約的水産や苦痛を伴う慣行を減らす方針を持ち、移行期限を定め、進捗を公開している
A	拘束飼育を行わない方針を持ち、移行期限を決めて公開している
B	原材料についてアニマルウェルフェアの5つの自由を満たす方針を策定している
C	調達する畜産物・水産物の生産過程を把握し、適正化するための方針づくりに着手している
D	未着手である
用語	アニマルウェルフェアの5つの自由、拘束飼育、集約的畜産・水産

4.2 畜産物・水産物を持続可能な資源量の範囲で利用している

S	主に植物性原材料を利用し、畜産物・水産物の利用は最小限にしている
A+	持続可能な資源量を超えて利用しない方針と植物性原材料への移行目標と期限を持ち、進捗を公開している
A	天然の生き物はもちろん、その飼料や土地利用を含め、持続可能な資源量の範囲内で利用する方針を持ち、移行期限を公開している
B	植物性原材料への移行への取り組みを行っている
C	原材料およびそれに関わる飼料・土地利用等が持続可能であるかを調査している
D	未着手である
用語	持続可能な資源量

4.3 動物実験を行わない（医薬分野を除く）

S	動物実験を行った原材料を利用しないことを社会全体に広めている
A+	動物実験を行った原材料を原則として利用しない方針を持ち、実行している
A	サプライチェーンと協働して、化粧品と食品の原材料について動物実験を行わない方針を適用している
B	化粧品と食品について動物実験を行わない方針を持ち、実行している
C	代替法がある実験はすべて移行済みであり、科学的なガイドラインに従い、動物実験を削減している
D	未着手である
用語	動物実験

4.4 取引が制限されている動物および身体の一部の売買や利用は行わない

S	野生生物保全の観点から、保全の必要な動物および身体の一部の取引管理を徹底している
A+	取引先と協働し、バリューチェーンにも同様の方針を適用している

A	ワシントン条約および国内法で制限されている動物およびその身体の一部は一切扱わない方針があり、常時確認している
B	条約や法律等に違反しない範囲で利用する場合にはトレーサビリティを確認している
C	動物およびその身体の一部の取引を規制しているワシントン条約および国内法について社内啓発している
D	未着手である
用語	ワシントン条約（附属書IIIまで含めて規制対象のすべて）
注記	楽天等の象牙規制の例

4.5 動物性原材料の使用を避けている

ファッション	
S	動物性原材料を使わない方針を持ち、その方針を公開している
A+	動物性原材料を新規に調達しない方針を持ち、移行期限を定め取り組みを始めている
A	動物性原材料の削減目標を持ち、取り組みを始めている
B	毛皮や残酷な工程を経た素材は利用しないことを表明している
C	動物性原材料の生産工程を把握している
D	未着手である
用語	残酷な工程（ミュールジング、ライブブラッキング）、植物性原材料

4.6 生きた動物の売買・展示等での利用を避けている

S	業界と協働して、生きた動物の売買・展示等での利用を行わないことを推進している
A+	サプライチェーンと協働して、生きた動物の売買・展示等での利用に関わらないことを徹底している
A	会場提供や協賛を含め生きた動物の展示や、アニマルウェルフェアに配慮されていない広告・プロモーションを行わない方針を持ち、実行している
B	会場提供や協賛を含め、生きた動物の売買を行わない方針を持ち、実行している
C	生きた動物を利用する場合、アニマルウェルフェアの5つの自由を担保し、また担保されている飼育場からきていることを確認している
D	未着手である
用語	アニマルウェルフェアに配慮されていない広告・プロモーション

5 製品・サービスの情報開示をしている

5.1 エシカルである等の主張をする際には裏付け情報（エビデンス）を示している

S	第三者がエビデンスを確認し、妥当性について評価・検討・改善等が定期的実施されている
A+	第三者が確認したエビデンスを開示している
A	エビデンスを開示する方針を持ち、実際にweb等で誰もが容易にエビデンスにアクセスできるよう公開している
B	主要な原材料のエビデンスを開示している
C	開示に向けてエビデンスの収集を始めている
D	未着手である
用語	エビデンス
要検討	何%ぐらいかを示す？

5.2 可能な場合には認証を取得している

S	認証制度が広がるように、制度を作ったり、環境を整えている
A+	サプライヤーが認証取得することを支援している
A	主要な原料とプロセスについて利用可能な認証がある場合には取得している
B	利用可能な認証がある場合は、段階的に取得に努めている
C	利用可能な認証について調査している
D	未着手である
用語	
注記	代表的な認証制度の紹介（特に人権系）

5.3 サプライチェーンを透明化し、トレーサビリティの確保している

S	主要な原料について、最上流までトレーサビリティを確保し、公開している
A+	主要な原料について、最上流までトレーサビリティを確保している
A	主要な原料について、トレーサビリティを確保する方針を持ち、3年以内に確保する具体的な計画を立てている
B	一部の原料について、トレーサビリティを確保している
C	一部の原料について、トレーサビリティを確保する準備を始めている
D	未着手である
用語	トレーサビリティ

5.4 製品・サービスに関して適時・適正に情報開示を行い、説明責任を果たしている

S	情報は公開し、年に1度は更新すると共に、個別の情報にもオープンなアクセスが可能である
A+	情報を年に1度は更新して公開すると共に、説明を求められた場合には説明責任を果たしている
A	情報を公開する方針を持ち、その情報をwebで公開し年に1度は更新している
B	説明を求められた場合には、法律で求められないものでも情報を開示している
C	情報の開示方針を策定中である
D	未着手である
用語	公開と開示

6 事業を行っている地域社会に配慮・貢献している

6.1 地域の文化と伝統を尊重している

S	事業を行う地域および主要な原材料を生産する地域の文化、伝統を尊重し、事業がさらにそれらを強化することに役立っている
A+	事業を行う地域だけでなく、主要な原材料を生産する地域の文化と伝統を理解し尊重している（特に海外では先住民族とその土地）
A	事業を行う地域、主要な原材料を生産する地域において、文化と伝統に関して住民との対話を重んじている

B	事業を行う地域あるいは主要な原材料を生産する地域のいずれかにおいて、その文化と伝統を尊重した活動を行なっている
C	事業を行う地域あるいは主要な原材料を生産する地域のいずれかにおいて、その文化と伝統を学んでいる
D	未着手である
用語	文化と伝統（ただし、人々の自由や福利に反するようなものには注意する必要がある）、慣習
注記	先住民族とその尊重の必要性について

6.2 事業を行っている地域からの雇用を推進している

S	様々なステークホルダーと協働して地域の人材の育成・能力強化を推進している
A+	地域の人材の育成・能力強化に力を入れている
A	優先枠を設けて地域の人々を幹部に登用している
B	優先枠を設けて地域の人々を採用している
C	地域の人々の雇用を増やしている
D	未着手である
用語	地域の人々、幹部
注記	地域の定義

6.3 事業を行っている地域からの調達を推進している

S	すべての原材料を地域から調達できるよう、地域での原材料生産にも協力している
A+	すべての原材料について、できる限り地域から調達している
A	主要な原材料は、基本的に地域から調達している
B	原材料のうち、地域から調達するものを増やしている
C	どのような原材料を地域から調達できるか調査している
D	未着手である
用語	
注記	例外のある場合には、その理由を説明する

6.4 地域での生産を推進している

S	地域を発展させるために生産を興し、多様な生産を行うことで地域経済の強化に貢献している
A+	単純な生産・加工にとどめず、地域での付加価値の創造を増やしている
A	地域の経済発展に寄与することを目指し、地域で持続的な生産を強化している
B	地域で持続的に生産を行う方針を持っている
C	地域での生産を維持してきている
D	未着手である
用語	

6.5 地域の課題解決に貢献している

S	地域社会の課題解決において、ステークホルダーとの連携を率先して行ない、多くの問題を解決している
A+	地域社会の課題解決にあたって、リーダーシップを発揮している
A	地域社会の一員として課題解決に参加する方針を持ち、定期的な地域社会との対話の基に課題解決に取り組んでいる
B	地域社会の課題を把握し、課題解決に参加している
C	地域社会への社会貢献活動をいくつか行っている
D	未着手である
用語	地域社会の課題には、事業に関わる問題（公害等）はもちろん、それ以外の一般的な課題も含める

7 適正な経営を行っている

7.1 自社のエシカル化を推進している

S	エシカルな社会を作ることが事業の目的で、すべての事業がそこに向かっていく
A+	社是等がエシカルで、それにそった経営を行なっている
A	エシカルな経営を行う基本方針を定め、本エシカル基準に照らし合わせて進捗を定期的に確認している
B	エシカルな商品やサービスを提供するだけでなく、全社的にエシカルを目指そうとしている
C	すべてではないが、一部でエシカルな商品やサービスを提供している
D	未着手である
用語	

7.2 公益通報者を保護している

S	経営が率先して不正を見逃さないことを宣言し、あらゆる問題が社内でもオープンに議論、解決されている
A+	独立性の高い内部通報窓口を持ち、過去5年間通報者の不利益は生じておらず、問題は適切に解決されたことが公開されている
A	公益通報者保護法を遵守し、それに沿った保護制度があり、過去3年間の数値が公開されており、通報者の不利益は生じていない
B	保護制度はあるが、通知件数等が公開されていない
C	公益通報者を保護する必要を社内に周知している
D	未着手である
用語	公益通報者保護法、公益通報者保護制度、内部通報窓口

7.3 軍需には加担しない

S	自ら知る限り自社の製品が間接的にも軍隊等には納入されておらず、あった場合にはその取引を中止している
A+	民生用を含めて自社の製品や技術を軍隊等には納入しない方針があり、取引もない
A	武器及び軍事転用可能な製品や技術は扱わない方針があり、取引の事実がないことを確認している

B	自社の製品や技術に軍事転用可能なものがないか確認している
C	軍需には加担しないことを社内に周知している
D	未着手である
用語	軍需（武器そのもの、軍事転用可能な民生品及びその技術）、参考：安全保障貿易管理のリスト

7.4 自社にとっての重要課題（=マテリアリティ）を特定し、課題解決に取り組んでいる

S	未定義
A+	社外のステークホルダーと重要課題を特定し、その解決のために協働している
A	専門家を含む社外のステークホルダーと一緒に重要課題を特定し、公開している
B	重要課題を特定し、公開している
C	重要課題を特定している最中である
D	未着手である
用語	重要課題（マテリアリティ）

7.5 政治関与（寄付・ロビーイング）を行う際には適正に行い、その情報は開示する

S	政治に働きかけながら、社会のエシカル変革をリードしている
A+	エシカルに社会が変革するよう、積極的に政策提言を行っている
A	政治への関与を適正に行う方針があり、すべての活動を開示している
B	政治への関与はすべて開示している
C	政治への寄付はすべて開示している
D	未着手である
用語	政治関与、寄付、ロビーイング
要検討	※後で再度確認（中原先生）

7.6 納税は適正に行い、利益を社会に還元している

S	納税を適正に行い、売上の1%以上を寄付等で社会に還元している
A+	租税回避を疑われるような行為は行わず、求められた際には説明をしている
A	適正に納税しているその他にも、利益を社会に還元する方針を持ち実行している
B	適正に納税し、定期的な寄付も行っている
C	適正に納税している
D	未着手である
用語	
要検討	SIは、利益の分配先について開示する必要があるか？

7.7 人材の多様性（ダイバーシティ）を高める経営を行なっている

S	すべての人材における多様性を確保する方針があり、実現している
A+	中核人材における多様性を確保する方針があり、実現している
A	経営層における多様性を確保する方針があり、実現している
B	定量的な目標を設定し、推進のための仕組みを持っている
C	人材の多様性を推進している
D	未着手である
用語	人材のダイバーシティ

8 サプライヤーやステークホルダーと積極的に協働している

8.1 サプライヤーと公平公正な取引を行なっている

S	あらゆるサプライヤーに対して相互が発展できる公平公正な取引を行い、開示している
A+	相互が長期的に発展できるような公平公正な取引をしている
A	サプライヤーが置かれた状況を配慮する方針を持ち、それに従って公平公正な取引を行なっている
B	サプライヤーとの公平公正な取引における課題の解決に着手している
C	サプライヤーとの取引における課題を把握するよう努力している
D	未着手である
用語	
注記	配慮すべき問題・事情

8.2 サプライチェーンの課題をサプライヤーと協働して解決している

S	サプライヤーと様々な課題解決について協働して、エシカルの実現に総合的に取り組んでいる
A+	エシカルに関わる課題を解決するために予算と人員を確保し、継続的に取り組みを実行している
A	エシカルを実現するため、サプライヤーと一緒に問題を解決する方針を持ち、実践している
B	サプライヤーにエシカルな課題を共有し、その重要性や取り組み方を繰り返し継続的に説明している
C	サプライヤーに自社のエシカルな取り組みについて伝えて、今後の方針を伝えている
D	未着手である
用語	連携、協働

8.3 ステークホルダーと対話や協働を行っている

S	ステークホルダーと協働を行いながら、同時に支援を行なっている
A+	さまざまなステークホルダーと問題解決のために協働している
A	さまざまなステークホルダーと定期的に対話を行う方針を持ち、実施している
B	ステークホルダーと協働した経験がある
C	ステークホルダーと対話をしたことがある
D	未着手である
用語	ステークホルダー

8.4 市民社会の一員としてエシカルを広げることに役割を果たしている

S	市民社会の一員としてエシカルを広げるためのアドボカシーをしている
A+	市民社会の一員としてエシカルを広げる活動を事業の一環として行なっている

A	エシカルを広げるために市民社会の一員として役割を果たす方針を持ち、活動をしている
B	エシカルを広げるために、広く市民社会の声に耳を傾け、対応している
C	市民社会のエシカルな活動に社員が参加しやすいようにしている
D	未着手である
用語	アドボカシー

以上